



広報 —ご家族皆さんでご覧ください—

# ふたば

語り合おう 双葉



2

災害版No.21 2月号  
2013



表紙写真：二十歳の笑顔 輝く！

平成25年2月1日発行 編集・発行 / 双葉町埼玉支所 秘書広報課

# ご成人おめでとうございます



## 誓いのことば

平成25年の年頭にあたり、私たち新成人のために、このような盛大な式典を挙行していただき、誠にありがとうございました。

また、井戸川町長様をはじめ、たくさんのご来賓の方々からお祝いと励ましのことばをいただき、深く感謝申し上げます。

本日、新成人としてあらたに認められたことに対し、改めて責任の重大さを感じ、身の引き締まる思いでいっぱいです。

東日本大震災により家族、友人や地域の人とも離れ離れになってしましましたが、生まれ育った双葉町をいつまでも忘れず、これまでにかけていただいた、温情を忘れることなく、自分たちのできることから少しずつではありますが、お返ししていきたいと思います。

まだまだ未熟な私たちですが、これからも皆さまの温かいご指導を心からお願ひ申し上げ、誓いのことばといたします。



## 新たな門出

1月5日、郡山ビューホテルアネックスにおいて平成25年双葉町成人式が挙行されました。今年は62人（男子34人、女子28人）が成人を迎えるました。

式に入る前に東日本大震災で犠牲になった方々へ全員で黙とうを捧げました。

第1部の式典では、浦和フィルハーモニー管弦楽団の演奏とコーラスふたばの歌に合わせて全員で国歌と町民の歌を斉唱。続いて、井戸川克隆町長から男子代表の松本凌さん、女子代表の富山早織さんにそれぞれ成人証書が手渡されました。

志賀一稀さん、吉田彩乃さんが誓うことばを述べました。また、成人式を迎えるにあたつての決意を発表する「はたちの夢」では、新成人を代表して4人の方々が東日本大震災を体験して気づいたことや将来の夢、近況などについて発

音が祝辞を述べられました。さらに新成人を代表して、志賀一稀さん、吉田彩乃さんが誓うことばを述べました。また、成人式を迎えるにあたつての決意を発表する「はたちの夢」では、新成人を代表して4人の方々が東日本大震災を体験して気づいたことや将来の夢、近況などについて発

井戸川町長が「このような時代に成人となられた皆さんには、お互いを尊重し合い、そこから生まれる絆を大事にして自らの可能性を追求し続け、これから時代の若き担い手として成長されることを強く望みます」と式辞を述べました。続いて、吉野正芳衆議院議員、吉田栄光県議会議員が祝辞を述べられました。

表し、成人としての自覚を新たにしました。

第2部の「成人の祝い」は、

浦和フィルハーモニーによる「ハープ協奏曲」の演奏で開会しました。成人式実行委員会が

主催し、町長、副町長、恩師を囲み軽食をとりながら和やかな雰囲気の中で行われました。「父から娘へ」「母から息子へ」のメッセージでは会場が大きな感動に包まれました。スクリーンに映し出された懐かしい映像などを観賞し、さらに双葉中学校時代の恩師からのお祝いの言葉や井戸川町長への質問コーナーも設けられました。最後に中学校時代の思い出の曲や双葉中学校校歌をみんなで合唱しました。

泉田 正悟さん（両竹）

ここから見えるのは、かけがえのない家族、多くのことをご指導くださった先生、会えないうち少し大人びた顔になつた友達、そして目を閉じると、慣れ親しみ育つた双葉の地が瞼に浮かんできます。故郷を離ることになりましたが、今日ここ郡山市で挙行できることを大変うれしく思います。

二十歳を迎える、すでに職業に従事している人もいれば、勉学に励んでいる人など立場は様々ですが、その中で夢に向かっている人も、夢を叶えた人も中にはいることだと思います。

私の夢は警察官になることです。震災後、人々の生命を守るためにまい進する姿に心を打たれ、大学に入り、課



北島 安実さん（塙）

こうして新たな門出である成人の日を迎えるにあたり、多くの方々のご支援があることを心より感謝いたします。母校を卒業し、5年の月日が経つた今、私は地元の医療向上に貢献したいという思いから大学に進学し、看護を学んでいます。自分の夢を見失い、故郷を思うことが幾度もありました。しかし、慣れ親しんだ故郷、そして家族、友人と過ごしたかけがえのない時間と思うと、その思いは決して色あせることなく、私自身の夢を後押ししてくれました。私にできる形で医療の向上、そして復興に貢献していきたいと思う思いが私の夢であり、私の歩む道を照らす希望です。

最後に、私を愛し支えてくださった家族、恩師、友人、地域の方々へ。振り返ると幾多の試練が重なってきた二十年でしたが、私がこの日を迎えられたのは、ここまで生きてこられたのは、ほかでもないあなたのおかげでした。私たちは大人としての自覚責任を胸に抱き、義務を果たし、これからも力強く生き抜いてまいります。

心からの感謝の言葉を述べさせてください。

本当にありがとうございました。

最後に、私を愛し支えてくださった家族、恩師、友人、地域の方々へ。振り返ると幾多の試練が重なってきた二十年でしたが、私がこの日を迎えられたのは、ここまで生きてこられたのは、ほかでもないあなたのおかげでした。私たちは大人としての自覚責任を胸に抱き、義務を果たし、これからも力強く生き抜いてまいります。

心からの感謝の言葉を述べさせてください。

本当にありがとうございました。

外授業を通じ警察について深く知ったことがきっかけでした。また、警察の方と活動していくうちに、その誰もが搖るぎない信念と不屈の精神を持つていて気がついたのです。今、私たちは険しい道に立っています。このような時だからこそ、あらゆることに「負けてなるものか」と突き進む心が何よりも大切なではないでしょうか。

つい一ヶ月ほど前に二十歳の誕生日を迎え、私も晴れて成人式を迎えるにいたしました。そうして今日思うことは、月日の流れは考えて今日よりもずっと早いということです。そしてこれまでを無事に過ごし、今までの人生の大半を過ごしてきた

## はたちの夢



酒井 綾子さん（下条）

私はここまで育ててくれた両親のような成人になることです。両親の子どもであることが誇りであり、本当に心から感謝しています。いつの日か、両親のように立派に社会に貢献する成人となれるように努めてまいります。

東日本大震災の発生から早2年の月日が経とうとしていますが、あの日を決して忘されることなく、生まれ育つた双葉町はいつも私たちの故郷です。私達の力で未来を切り開いていけるような強さを持った新成人となり、未来を支えていける存在となることを誓います。これから先、将来に対する不安に押し潰されてしまいそうになることが幾度あつたとしても、その度に家族友人、故郷を思い浮かべ、ひたむきに、まっすぐに自分の志す道を歩んでいきたいと思います。



佐藤 亮太さん（新山）

きませんでした。

3・11の震災以降、180度環境が変わり先が見えなくなりました。しかし、改めて見えた事もありました。まずは、本当に未来は変えられることがあります。それは親孝行です。今こうして自分がいるのは、どんな事があっても、誰よりも理解して応援してくれた親のおかげです。今はまだ自分のことで精一杯でなかなか家族と過ごすことができませんが、いつか必ず果たすためのスタートラインに立つたと自覚し、「日々、親孝行」をモットーに頑張りたいと思います。

これから未来を作っていくのは自分たちです。大きな夢や希望が見えなくとも、日々の小さな幸せを見つけ、ハッピーな人生を送ることはできると思います。そして将来、人生を振り返る時に幸せだったと思えるよう、今どいう瞬間を存分に楽しむことが、私の夢であり希望です。

双葉町で迎えたかったこと、残念に思っていたことがあります。

一昨年の東日本大震災が発生したとき、私は高校の卒業式を終えたばかりで、その春からは、大学に通うことになりました。いまだに復興の兆しが見えない双葉町に不安を覚え、大学卒業後は地元には帰らずに就職をしようと悩んだ時期もあります。しかし、よその地に住んで感じることは、やはり故郷である双葉が忘れられず、一刻も早く帰りたいと自分が思つていていました。これもひとえに、両親をはじめ、双葉町で私を育ててくださった皆さまや共に学び励まし合った友人たちの存在があつたおかげで、本当に感謝してもしきれない思いでいっぱいです。しかしそれと同時に、そのような成人式だからこそ、私が今までの人生の大半を過ごしてきた



平成25年、晴れやかな、そして輝かしい成人式を迎えるました。62名の皆さん、ご成人、誠におめでとうございます。また、今日まで深い愛情を注がれながら、皆さんを育ててこられたご両親やご家族の皆さんにも心からお祝いを申し上げます。

さて、一昨年の東日本大震災並びに福島第一原子力発電所の事故当時、皆さんは、高校の卒業式を終え、大学入学や就職という人生を左右する重要な時期であります。しかし、今、このように次代を担う若者として心身ともに健やかに成長され、成人となられたことを心からお喜び申し上げます。

成人式は、新成人にとって「一生に一度の晴れ舞台」でありますが、双葉町がこの未曾有の難局に遭遇しているときだからこそ、双葉町の新成人が一堂に会し、成人式という日の意義を一人ひとり真剣に考え、自分たちは、今、何をすべきかを話し合い、行動に移してもらう貴重な機会にしていただきたいのです。

昨年は、京都大学の山中伸弥教授がIPS細胞研究でノーベル賞を受賞されました。日本人として素直に感激するとともに、世界中から称賛され、日本人の底力、そして未来への期待を強く意識させられた受賞がありました。山中教授は東京都内で開かれたフォーラムで、高校生や大学生に向けて、長期ビジョンを持つことの大切さを語ったうえで、「成功するためにはたくさんの失敗をしてほしい」と呼びかけられました。

新成人の皆さんのが直面している課題は、東日本大震災並びに原発事故の被災・被害からの早期復興・

復旧であります。このような時だからこそ若者のエネルギーとパワーを結集し、失敗を恐れず、この苦難を切り拓いていかなければなりません。新成人の皆さん一人ひとりが、双葉町の復興・復旧のために長期ビジョンを持ち、知恵を出し合い、新たな双葉町を築くための原動力となり、大きく歩みだすこと

を期待いたします。

復旧であります。このような時だからこそ若者のエネルギーとパワーを結集し、失敗を恐れず、この苦難を切り拓いていかなければなりません。新成人の皆さん一人ひとりが、双葉町の復興・復旧のために長期ビジョンを持ち、知恵を出し合い、新たな双葉町を築くための原動力となり、大きく歩みだすこと

### 大きな夢に はばたく若者へ

双葉町教育委員長 岡 村 隆 夫

成人の日を迎えた皆さん、誠におめでとうございます。

震災から1年10ヶ月も過ぎた今でも、皆さんの故郷は、ますます遠くなり、先がいまだまったく見えません。

国も初めての原子力発電所の事故に、どうしたらいいのか答えはありません。皆さんの中には、双葉で人生設計を始められていた方、また、これから双葉でと想えていた人もいたことでしょう。しかし、皆さんの未来は無限大です。これからは、成人として公の使命を担い、人として大きく成長し、世界へ羽ばたいてほしいと願つてやみません。

クラーク博士の言葉に「人間が人間として、備えていかなければならぬあらゆることを成し遂げるために、大志を抱け」と若い人に教えています。

今、双葉町も町民の意見を聴きながら「復興まちづくり」への努力をしているところです。皆さんのような若い力がぜひ必要です。

「君たちよ頑張れ！町民だつて頑張つているんだから」

## お礼のことば



この度は、私たちのためにこのように盛大な式を開催していただきましてありがとうございます。また、遠方よりおいでいただきました御来賓の方々、この式を開催するにあたりご尽力してくださった双葉町役場の皆さん、会場を提供してくださった郡山ビューホテルアネックスの皆さんに深く感謝申し上げます。

東日本大震災により双葉町を離れることになりながらもこうして成人を迎えることができたのは家族や親戚、友人たちや先生方、地域の方々の支えがあったからなのだと実感しています。今まで私たちを支えてくれた多くの方へ感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

成人を迎えた今、私たち一人ひとりが震災からの復興に向けて何ができるかを考え、行動することが必要なのだと感じています。

最後になりますが、一人ひとりが復興に向かって前に進んでいくことを願い感謝の言葉いたします。

平成二十五年一月五日

成人代表  
里見

淳  
(羽鳥)

## たくさんの祝福に包まれた成人式



▲町民の歌齊唱



▲新成人を代表して松本凌さん、富山早織さんに成人証書の授与



浦和フィルハーモニー管弦楽団のご支援による美しい演奏が、成人式に華を添えました。

# 平成25年 双葉町成人式

華やかな振袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人の皆さんには、大人になった喜びと懐かしい友達との再会に明るい笑顔を浮かべながら、人生の節目となる大切な1日を楽しみました。

今年も埼玉県越谷市にお住まいの、日本伝統水引工芸研究会総師範の江坂冴水さんから、男性には赤いコサージュ、女性には色とりどりの髪飾りや帯飾りが成人者全員に贈られ、会場で配されました。



## 新成人の生まれた年はこんな年でした

平成4年4月2日～平成5年4月1日

### ○主な出来事

- ・東海道新幹線に「のぞみ」登場
- ・バルセロナ・オリンピック水泳女子2百メートル平泳ぎで岩崎恭子選手14歳が金メダル獲得
- ・毛利衛さんがスペースシャトルエンデバーで宇宙へ
- ・長島茂雄さんが12年ぶりに巨人軍監督に復帰

### ○流行

- ・クレヨンしんちゃん
- ・美少女戦士セーラームーン
- ・アップルコンピュータ、パワーブックが大ヒット
- ・女子高生の間でポケベルが大流行



▶菅野寧也さんの音頭ではたちに乾杯



成人おめでとうメッセージ

父から娘へ

北島伸一さん



母から息子へ

松本和榮さん



思い出の歌「ウイズ ユースマイル」や「双葉中学校校歌」を全員で合唱しました。

◀小学6年生の時に書いた成人の自分へのメッセージを披露

## 町民の皆さんへ

—故郷への帰還を目指して—

昨年の12月の定例議会において、町長の不信任決議案が可決され、皆さまには多大なご心配をおかけしたことを深くお詫びいたします。また、中間貯蔵施設の設置、避難指示区域の再編や損害賠償など、喫緊で重要な課題を抱えている今、町政の空白が許されないことから苦渋の選択をとらざるを得なかつたことをご理解願います。

私は年末年始にかけて町民の皆さまと懇談をしてまいりました。今まで国や東京電力に、いつ帰還できる時期を示してほしいという要望が数多く出されました。今まで国や東京電力に、いつ帰還できるのか問い合わせてきましたが、未だに回答がありません。

私は、放射性セシウム137の半減期に合わせて、町への帰還居住目標を暫定的に30年としました。そのため国や福島県、東京電力とともに、帰還目標を年間1ミリシーベルトといたしました。それまでの間、町民の皆さまが健康で安心して生活できる仮の町を構築しなければなりません。双葉町復興まちづくり委員会から3月末に

私は、放射性セシウム137の半減期に合わせて、町への帰還居住目標を暫定的に30年としました。双葉町が町民の皆さまの健康管理をサポートしなければならないものと考えております。

政権は民主党から自民党に交代しました。新政権に対し、被災地・被災者の目線に立ち、復興・復旧にスピード感をもって対応するよう強く働きかけなければなりません。

双葉町長 井戸川克隆

復興計画案が提案されますが、計画の実現に向けて前進しなければなりません。そして子どもたちには双葉町の教育を、若者には仕事を、高齢者には安心して生活ができるような環境を整備することが必要です。

避難指示区域の再編や中間貯蔵施設についても前向きに考えなければならない課題ですが、損害賠償とあわせて、十分な議論が必要であると考えています。

放射線による健康被害が心配されている中、上羽鳥地区にあるモニタリングポストが1.59ミリシーベルトを観測した時点に数多くの町民が避難できずに残されていたことから、町民の皆さまの健康管理、特に放射線の影響を受け易い子どもの健康管理に配慮しなければならないと考えています。県民健康管理調査は十分とはいえず、双葉町が町民の皆さまの健康管理をサポートしなければならないものと考えております。

## 町長の主な公務 をお知らせします

平成24年12月13日～平成25年1月15日

- 12月 13日 村田文雄副知事との懇談（埼玉支所）  
 16日 7000人の復興会議（東京都）  
 18日 第4回議会定例会（加須市）  
 19日 第4回議会定例会（加須市）  
 20日 第4回議会定例会（加須市）  
 28日 仕事納めの式（埼玉支所）

- 1月 4日 仕事始めの式（埼玉支所）  
 5日 成人式（郡山市）  
 7日 年始知事懇談会（福島市）  
 10日 井上信治環境副大臣との懇談（埼玉支所）  
 東京電力石崎芳行副社長との意見交換（埼玉支所）  
 12日 夢ふたば人ダルマ市（いわき市）  
 15日 大島理森自民党東日本復興加速化本部長と双葉地方町村長、町村議長との懇談会（広野町）



▲仕事始めの式で双葉ダルマに目を入れる井戸川町長



双葉町消防団長 石井義幸さん

1月4日、埼玉支所において、井戸川克隆町長から石井義幸さん（三字：現在南相馬市居住）に双葉町消防団長の辞令が交付されました。

石井さんは、昭和55年に双葉町消防団に入団。第5分団長、技術分団長を経て副団長に就かれていました。「避難している町民の安全、安心のために団員相互の連絡を取り合い消防活動に努めたい」と抱負を述べられました。

任期は、平成24年12月28日から平成28年12月27日までの4年間です。

- ・團長 石井 義幸
- ・副團長 松浦 雅治（茨城県ひたちなか市居住）
- ・訓練分団長 渡辺 浩美（福島市居住）
- ・技術分団長 根本 英樹（いわき市居住）<敬称略>

# 「届出避難場所証明書」の発行について

避難生活において、民間契約等の際に避難場所について証明することを求められる事例があり、できる限り避難生活上の支障が生じないよう、避難場所に関する証明書を発行する必要があるとの意見が寄せられております。

このようなことから、東日本大震災による原子力発電所の事故により避難されている町民の方に対して 「届出避難場所証明書」を2月1日から発行することになりました。

ご入用の方は、下記により手続きをしてください。  
※なお、必要に応じ、住民票と同様に発行いたしますので、  
その都度請求手続きをされるようお願いいたします。

## ◆ 「届出避難場所証明書」とは…

今回発行する届出場所証明書は、避難者から届出された避難場所に相違ないことを証明するものです。

### (1)請求者及び請求先

避難者又は避難者と同一の世帯に属する者は、届出避難場所証明書の交付を請求できるものとする。

### (2)請求できる届出避難場所証明書

請求者は、自己又は自己と同一の世帯に属する者（避難者に限る。）に係る届出避難場所証明書に限り請求できるものとする。

### (3)郵便等により、代理人の住所等請求者の避難場所以外の避難場所への届出避難場所証明書の送付はできません。

### ◆申請受付けについて

#### ＜受付時間＞

午前9時から午後4時30分まで

※土・日曜日・祝日は受付のみとなり、証明書の交付は後日郵送となります。

#### ＜受付場所＞

- 双葉町埼玉支所住民生活課
- 双葉町福島支所住民生活班

※郵便による申請受付けも行っております。

申請様式は下記により2種類（送信表及び届出避難場所証明書交付申請書）をダウンロードし、必要事項を記入の上、双葉町埼玉支所・双葉町福島支所宛てお送りください。

#### ＜申請に必要なもの＞

- ①印鑑（認印可）
- ②本人確認資料（運転免許証など）
- ③本人または同居家族以外の方が申請する場合は委任状

#### ＜関連様式＞

（町ホームページからダウンロードできます）

⇒送信表（PDF形式）

届出避難場所証明書申請書（PDF）⇒記載例（PDF形式）

## 【問い合わせ先及び送付先】

●双葉町埼玉支所 住民生活課  
〒347-0105  
埼玉県加須市騎西598-1  
☎ 0480-73-6880（代）  
FAX 0480-73-6926

●双葉町福島支所 住民生活班  
〒963-8024  
福島県郡山市朝日1丁目20番2号  
☎ 024-973-8090（代）  
FAX 024-933-5120

## 自動車の登録・検査の手続きは お早めに…

毎年、年度末の3月期は、自動車の登録・検査の申請で多くの方が訪れ、窓口が大変混雑します。その結果、手続きに何時間もかかることがあります。申請者の皆様にはご迷惑をおかけしております。

このことから、手続き等をお考えの方は、早期の申請をお願いいたします。

**東北運輸局福島運輸支局**  
(福島市吉倉字吉田54)  
・ 登録関係 ☎ 050-5540-2015  
・ 検査関係 ☎ 024-546-0342

問い合わせ先

## (財)福島県文化振興財団 助成事業の申請受け付けについて

県民の皆さんの文化活動を支援する(財)福島県文化振興財団では、現在平成25年度第1期分の助成申請を受け付けています。

○対象事業…県内に住所または活動の本拠を有する個人・団体の行う文化活動

○対象時期…平成25年4月1日から  
平成25年7月31日まで

○申込方法…所定の申請書に記入の上、双葉町教育委員会生涯学習課の窓口へ

○申込期限…平成25年2月28日(木)

【問い合わせ先】教育委員会 生涯学習課  
☎ 0480-73-6843

# 町県民税申告・所得税の相談

町県民税申告は、平成25年度の町県民税を正しく算定する基礎となるほか、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の算定や各種福祉施策などの資料となるなど重要な手続きです。

町県民税申告受付と所得税の相談を **下記** の日程で行いますが、3月18日以降も随時受け付けます。  
また、所得税に関する相談などは最寄りの税務署にご連絡ください。

## (申告受付日程)

日 時	会 場
平成25年2月18日(月)～平成25年3月15日(金) 午前9時から午後4時まで ただし、土、日曜日、祝日を除く。	双葉町役場福島支所（1階会議室） 双葉町役場埼玉支所（2階会議室）

## 申告対象者

平成25年1月1日現在、双葉町に住民登録されている方は原則的に所得の有無にかかわらず町県民税の申告をしなければなりませんが、申告が不要な場合もあります。

### ◎申告が不要な場合

給与収入で年末調整が済んでいる方。扶養家族となっている方。所得税の確定申告が済んでいる方。



## 申告相談受付に必要なもの

### 【所得に関するもの】

- 給与や年金の収入がある方…源泉徴収票・支払明細書など
- 事業・不動産所得がある方…収入や経費がわかる各種帳簿及び領収書など
- 農業所得がある方…農産物出荷証明書、収入や経費がわかる各種帳簿及び領収書
- 一時所得(生命保険満期返戻金など)・配当所得(株式の配当など)・就労不能損害がある方…支払明細書など
- 雑所得(シルバー人材センター配分金・個人年金など)がある方…支払明細書など
- 謹渡所得(土地・家屋などの売買)がある方…売買契約書など

### 【所得控除に関するもの】

- 社会保険料控除を受ける方…平成24年中に支払った国民年金保険料などの証明書
- 生命保険料、地震保険料控除を受ける方…控除証明書
- 医療費控除を受ける方…領収書(受診者別に医療機関別にわけて支払額を計算し持参してください。)、医療費を補てんする保険金等の明細書
- 障害者控除を受ける方…身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳など
- 住宅借入金等特別控除を受ける方…住民票の写し、登記事項証明書、売買契約書または請負契約書(家屋の取得年月日、床面積、取得価格を明らかにする書類)、住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書

### 【その他】

- 印鑑 (口座振替納付を希望される方は、金融機関名、口座番号、届出印鑑)

※平成24年中に合意等が成立した東京電力(株)から支払を受けた賠償金のうち、農業・営業損害の減収分に対するもの、給与等の減収分に対する就労不能損害などは申告が必要となりますので、内訳等が記載された書類を必ずご持参ください。

## 税務署からのお知らせ

### ○申告・納税期限の延長等について

双葉町の住民の皆様については、所得税、消費税、法人税、贈与税などのすべての国税について、平成23年3月11日以降に到来する申告・納付等の期限が延長されています。

これに伴い、平成24年分の所得税や個人事業者の消費税の申告期限も延長されていることから、平成24年分の確定申告書用紙はお送りしておりませんのでご了承ください。

なお、申告期限が延長されている場合であっても、サラリーマンの方や年金所得者の方で所得税の還付申告をされる場合などは、申告書を提出することができます。

おって、期日が指定された場合については、市町村広報紙や国税庁ホームページ等でお知らせいたします。

### ○お問い合わせ先等

各種申告手続、確定申告書等の用紙の請求、その他国税に関するご相談のある方は、福島県内をはじめ全国の税務署で受け付けておりますので、最寄りの税務署へ電話でお問い合わせください。

税務署名	電話番号	税務署名	電話番号
相馬税務署	0244-36-3111	白河税務署	0248-22-7111
福島税務署	024-534-3121	須賀川税務署	0248-75-2194
会津若松税務署	0242-27-4311	喜多方税務署	0241-24-5050
郡山税務署	024-932-2041	二本松税務署	0243-22-1192
いわき税務署	0246-23-2141	田島税務署	0241-62-1230

※確定申告及び東日本大震災に関する電話相談は、確定申告電話相談センターにおつなぎします。音声案内に従い「0番」を選択してください。

確定申告の相談や申告に必要な書類などは、相馬税務署または町税課までお気軽にお問い合わせください。

[問い合わせ先] 相馬税務署 ☎ 0244-36-3111 双葉町埼玉支所 ☎ 0480-73-7686  
双葉町福島支所 ☎ 024-973-8090



自動車税は、毎年4月1日（午前零時）現在で自動車を所有している方（割賦購入の場合は使用者）に課税されます。

自動車を下取りに出したり、他人に譲り渡したり、廃車した場合には、3月末までに必ず運輸局で名義変更や抹消登録の手続きをお願いします。

これらの手続きが遅れた場合には元の所有者に課税されることになります。

また、自動車税の納税通知書は運輸支局に登録されている住所に送付されます。

市役所、役場等に住所変更の手続きをしても、自動車検査証の住所は変更されませんので、住所が変わったときには、速やかに運輸支局に変更登録の手続きをしてください。

原子力災害等により一時的にお住まいを異動されている方は、必ず郵便局へ転送届けを提出されますようお願いいたします。

#### ○登録手続きに関する問い合わせ先

- ・国土交通省東北運輸局福島運輸支局  
☎ 050-5540-2015
- ・いわき自動車検査登録事務所  
☎ 050-5540-2016

#### ○登録手続きの代行に関する問い合わせ先（有料です）

- ・南相馬自家用自動車組合  
☎ 0244-23-2850

#### ○上記以外の自動車税に関する問い合わせ先

- ・福島県相双地方振興局  
☎ 0244-26-1127
- ホームページアドレス  
<http://www.pref.fukushima.jp/soso/shinko/>

## 損害賠償請求はお早めに！

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故から1年10ヶ月が経ち、町民の皆さんにおかれましては未だに先の見えない不安な日々を送っていることと思いますが、この事故により被つた損害について東京電力㈱に対する損害賠償請求はお済でしようか。

一般的に、民法では発災日から3年で請求権利がなくなる（いわゆる「時効」）規定があります。

そこで、町では国に対し時効の中止を強く申し入れております。こうした声を受けて現在国及び東京電力において事項中断の取り扱いについて検討が進められています。

しかしながら、皆さんの権利を自ら守るために、早めに損害賠償請求を行うことが必要です。

町では、町民の皆さまの生活再建を図るため、円滑な損害賠償請求ができるように支援してまいりたいと考えておりますので、もし、町民の方でまだ請求されていない方や

請求方法がわからないという方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】  
企画課原子力対策係  
☎ 0480-73-3611、  
3613

- ・「避難指示区域の見直しに伴う損害賠償基準」説明会での質問等に対する回答
  - ・双葉町弁護団が「皆さんの疑問にお答えします」
  - ・損害賠償請求はお早目になど、損害賠償請求に関する事項について、町ホームページに掲載しております。
- ホームページをご覧になれない方には、郵便により資料を送付しましので、ご連絡ください。

### 公的個人認証サービスによる

## 電子証明の発行・更新業務の手続きが再開しました

東日本大震災及び原子力発電所事故以降、サービスが停止しておりました公的個人認証サービスが平成25年2月1日から利用できるようになりました。

利用者の皆さんには大変ご迷惑をおかけいたしましたが、これまで発行しました電子証明の更新や新たに住基カードを作成され電子証明の発行を受けることにより、これまで通り自宅のパソコンから所得税の申告等や厚生年金、国民年金の諸手続きが行えます。

ただし、利用するには双葉町埼玉支所の住民生活課戸籍係の窓口に直接住基カードを持参していただくことになりますので、ご了承願います。

**【問い合わせ先】**  
**双葉町埼玉支所 住民生活課戸籍係**  
**☎ 0480-73-7836**

### 住民票の広域交付について

全国の市区町村役所窓口で本人や同一世帯の住民票の写し（本籍地等を省略したもの）を取ることができます。本人確認ができる書類が必要です。手数料は各市区町村で異なります。

### 【サービスが利用できる条件】

- ①住基カードを電子証明書発行申請の手続きをしていただく必要があります。  
※住基カードをお持ちでない方は、カードの交付申請を行い、カードが発行されてからになります。  
また、住基カードには顔写真付のタイプと写真なしのタイプの2種類がありますが、写真付ではないカードの場合、電子証明の発行申請の時に、顔写真入りの運転免許証など本人確認ができるものを持参してください。

### 【窓口での申請手続き】

- ①電子証明書発行申請を提出し本人確認が済んだあと、戸籍係に設置してある鍵ペア生成装置で暗証番号の入力を本人が行い、住基カードに電子証明書を格納します。
  - ②発行更新手数料として500円を納入し、カードを受け取ります。
- 所得税の申告等サービスを利用するには、現在、居住されている場所でパソコンを使用して電子署名を行います。
- ※利用するには、インターネットに接続できる環境と住基カード対応のICカード読み取り装置（利用者購入）が必要になります。  
適合しているICカード読み取り装置や公的個人認証については、専用サイト（<http://www.jpki.go.jp/>）で確認願います。



## 喜びの再会

—下条地区—

12月2日、3日、いわき市かんぽの宿において、1年9ヶ月ぶりに54人の下条地区の皆さんのが集い、交流会を兼ねた臨時総会が開催されました。

作本信一副区長からの総会開催のあいさつに続き、震災で犠牲になられた方々に黙とうがささげられました。

総会は用意された町民体育祭の栄誉ある優勝旗、優勝カップをひな壇に飾り、藤田博司区長から遠方から参加された事への感謝と御礼の言葉が述べられ、また、避難生活への慰労、震災に負けないために今後とも下条の皆さんとの絆を持ち続け、来年以降も交流会を開催したいとあいさつがありました。議事は鵜沼利一議長の進行により、震災以降の情勢報告や会計報告等が提案され、役員改選については、次期総会まで現体制でいくことが承認されました。

続いて、議会を代表して伊澤史朗副議長から中間貯蔵施設設置問題について説明を受け、総会を閉じました。

交流会では、現在の生活状況等について時間の過ぎるのも忘れて語り合いました。

次の日には別れを惜しみながら次回の再会を楽しみにそれぞれの避難先へ帰つて行きました。

## 尿による内部被ばく検査について

昨年12月より、町民の皆さんの健康不安の解消と継続的な健康管理を目的に「尿による内部被ばく検査」を実施しております。

すでに申し込みをされた方は、お早めに採尿を実施し、検査機関（理研分析センター）に検体を送付してください。

**検体必着：2月28日(木)**

※必着期日を過ぎてしまますと、検査ができなくなりますので、ご注意ください。

これから申し込みを希望される方は、問い合わせ先にご連絡ください。

### 【問い合わせ先】

双葉町埼玉支所 健康福祉課健康づくり係  
☎ 0480-73-6938

## 長塚一行政区からのお知らせ

長塚一区長 木幡 智清

総会並びに交流会を下記のとおり開催いたしますので。ご参加ください。

記

○開催日…3月22日(金)

- ・総会 午前10時30分～
- ・交流会 総会に引き続き行います。

○場所…郡山ビューホテル アネックス  
郡山市中町10-10  
☎ 024-939-1111

○申込締切…2月28日(木)

※参加費は無料です。

準備の都合上、早目の連絡をお願いします。

○連絡先

- ・木幡 智清 ☎ 090-7666-3116
- ・岩元 善一 ☎ 090-7338-9644

⇒平成24年2月に開催された総会・交流会

## 双葉町浜野行政区



喜びの再会

—浜野地区—



▲毎年、盛大に行われていた浜野地区の盆踊り大会

浜野地区では、震災後2回にわたり総会・交流会が開催されました。

2月25日、26日、いわき市のスパリゾートハワイアンズにおいて開催され、県内外の避難先から約30人が集いました。

浜野地区では東日本大震災の津波により16人の方が亡くなられており、菅本洋区長が「犠牲になられた方々のためにも地域の絆を失うことなく、前向きに生きよう」と呼びかけ、全員で黙とうを捧げました。

二回目の総会・交流会は、平成24年12月22日、23日、飯坂温泉のホテルにおいて開催され、約20人の皆さんが集いました。

総会では、町の現状や避難生活のことなどの情報交換を行うとともに、今後も地域の絆を大切に定期的に集まりをもつことなどが話し合われました。交流会では夜がふけるのも忘れて語り合い、またの再会を約束しました。

## 双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内5カ所で、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、資金・事業の紹介など）をわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

2月の日程は右記のとおりです。

※町村問わず最寄りの窓口にお越しください。

※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「**ふたばの農業通信**」に掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になります。（携帯電話のパケット料金にはご注意ください）

※時間：午前10時～午後3時

2月7日(木)	三春貝山多目的運動公園管理棟 (葛尾村役場三春出張所)
2月8日(金)	いわき明星大学 大学会館2階 (楢葉町役場いわき出張所)
2月15日(金)	二本松市平石高田第二工業団地内 (浪江町役場二本松事務所)
2月22日(金)	会津若松市扇町応急仮設住宅集会所 (大熊町仮設住宅)
2月28日(木)	郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所 (富岡町仮設住宅)

【問い合わせ先】双葉農業普及所

☎ 0246-24-6044  
FAX 0246-24-6142



## 喜びの再会

昭和57年度卒  
双葉中学校復興祈念懇親会

11月24日、25日磐梯熱海温泉のホテルにおいて、一泊二日の日程で震災後初めての懇親会が開催されました。全国各地から28人の懐かしい顔ぶれが集まりました。

初めに、病気等で亡くなつた同級生や東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福と双葉町の一日も早い復興を祈り、黙とうをささげました。

続いて、同級生を代表して同級会会長の富澤佳明さんが「東日本大震災さらには福島第一原子力発電所の事故によりふるさと双葉町は大変な状況ですが、希望を失わず、早く明日に踏み出せるよう頑張っていきましょう」とあいさつしました。

乾杯が行われ、お互いの近況を話し合い、主催者側が用意したDVD（卒業アルバム、懐かしい写真、現在の双葉町の様子など）がスクリーンに映し出されると中学校時代を思い出しながら自分たちの顔に爆笑したり、涙したり思い出に浸りながら旧交を温め合いました。また、変わり果てた双葉町の様子に驚き、悲しみ必ず復興することを約束し合いました。

最後に、来年は同級会を開催する予定との話があり、変わらぬ友情と健康を誓い、一本締めて懇親会を閉じました。

## にこにこサロン を開催します

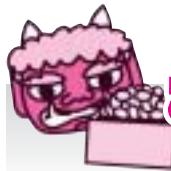
平成24年度の福島県内における介護予防事業「にこにこサロン」は、毎月1回次のように仮設住宅等において開催予定です。  
おおむね65歳以上の方を対象に、「にこにこ体操」や「折り紙」、「脳トレゲーム」、「ぬり絵」等を通して参加者の皆さんと楽しい時間を過ごします。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

### 平成25年 2月 福島県内仮設住宅 開催予定日

仮設住宅集会所	住所・電話	開催月日	時間
(いわき市) サポートセンター「ひだまり」	いわき市南台3丁目1-1 0246-38-7105(事務所)	2月5日(火) (毎月第1火曜日)	13:30~15:30
(郡山市) 富田仮設住宅	郡山市富田町字町田11-15 080-6290-5927(高野)	2月12日(火) (第2火曜日)	13:30~15:30
(郡山市) 喜久田仮設住宅	郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54-4 080-6290-5927(高野)	2月14日(木) (第2木曜日)	
(白河市) 白河仮設住宅第二集会所	白河市郭内151-29 080-6290-5930(芹川)	2月21日(木) (第3木曜日)	13:30~15:30
(福島市) さくら仮設住宅	福島市さくら1丁目10-1 080-6290-5941(林)	2月26日(火) (第4火曜日)	13:30~15:30
(福島市) 平野仮設住宅	福島市飯坂町平野字内小原田8-1 080-6290-5941(林)	2月28日(木) (第4木曜日)	13:30~15:30

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 いきいきサポートセンター(介護予防事業所)

☎ 080-6033-1199(古室)



# もっと豆を食べましょう

2月3日の節分には、豆まきをしたり、恵方巻を食べて、邪気を払い1年の健康を願います。豆まきをするのは、魔目（鬼の目）にめがけて豆を投げれば魔が消える、魔を滅することからといわれています。

豆類の摂取量は、食生活の変化により減少し、目標とされている1日100gに届かず、実際は51.7gと半分程度にどまり、若い人ほど食べない傾向があります。

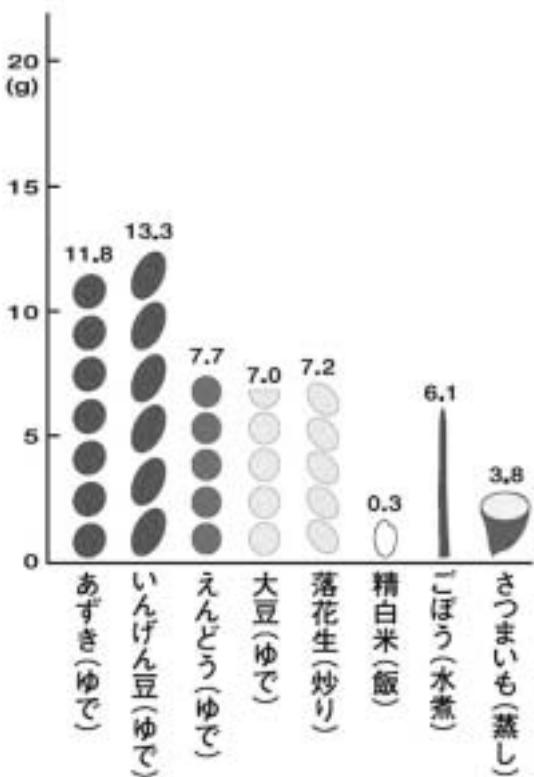
豆類には、たんぱく質やカルシウム、カリウムなどのミネラル類や、ビタミンB群、ポリフェノール類などの機能性成分も多く含まれます。

豆類は、その成分からたんぱく質を多く含むグループと、でんぶんを多く含むグループに分けられますが、どちらも食物繊維が多く含まれています。さまざまな健康効果が期待できる豆や豆の加工品を、1日1回は食べるよう心がけたいです。

たんぱく質を多く含む大豆は「瘤の肉」とも言われ、たんぱく質の構成成分であるアミノ酸がバランスよく含まれていること、さらにコレステロールを全く含まないことが特徴です。豆腐などの加工品にも、多くのたんぱく質が含まれます。水煮大豆を煮ものなどの調理に加えたり、豆腐、納豆、豆乳などの加工品を使えば手軽です。

豆まきの豆（炒り大豆）を使った料理レシピを紹介します。どれも簡単にできるので、今年は豆を少し多めに買っておいて、ぜひ作ってみてください。

食物繊維の含有比較(可食部100gあたり)



豆類は、人類が穀物の次に古くから食用に栽培された食物といわれます。

## ・炒り大豆ごはん



### (材 料)

- ・米 2合
- ・しょうゆ、酒 大さじ2
- ・塩 少々
- ・炒り大豆 50g

### (作り方)

米をとき、その他の材料を入れて、ご飯を炊くのと同じ水を加えて炊く。

## その他の調理法

### ・サラダやみそ汁の実として使う

2~3分ゆでるとやわらかくなります。サラダやみそ汁の具にしたり、味つけをして煮豆にも。

**・かき揚げ** 天ぷらの種を作り、炒り大豆をそのまま加えて、かき揚げにする。

**・きなこ** フードプロセッサー或はミキサー、すり鉢です。

※でんぶん質の多いあずき、えんどう豆、いんげん豆、そら豆などは、煮豆やあんこに加工されることが多いのですが、脂肪がきわめて少ない(100gに2g程度)のが特徴で、洋菓子よりも和菓子の方がダイエットにむいていると言われるのはこのためです。





浜通り、元通り！頑張ろう双葉



# 浪江消防署からのお知らせ

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。

- 暖房器具の周りに燃えやすいものを置かない
- 調理中はガスコンロから離れない
- 寝タバコは絶対にしない
- ちょっとした不注意や油断が火災を引き起こす原因となっています。火の取り扱いには十分注意して、お出かけ前やお休み前にもう一度火の元の確認をしてください。

## 寒い季節の急激な温度変化にご注意を！

**ヒートショック**という言葉を聞いたことがありますか？室温の変化によって血圧が急激に上がったり下がったり、脈拍が早くなったりする状態のことをいいます。

これは、寒い季節の入浴時やトイレの際に多く発生し、年間1万人以上の方が亡くなっています。

ヒートショックは、心筋梗塞や脳血管障害などにつながりかねない危険な状態です。脱衣所を温めたり、急に熱い風呂に入らない等の対策がありますので、家庭内事故防止を心がけましょう。

## 凍結路面での運転に 注意しましょう

冬季期間に入り、路面の凍結により、自動車のスリップや歩行者の転倒が増加します。

特に雨や雪の後は、橋の上、一日中日陰となっている部分、トンネルの出入口では凍結しやすいため徐行し、路面の安全を確認してから通行してください。

また、車を運転する際には下記のポイントに注意してください。

### ○やってはいけない4つの急ポイント

- 1、急発進
- 2、急ブレーキ
- 3、急加速
- 4、急ハンドル



### <問い合わせ先>

浪江消防署 富岡消防署川内出張所  
☎ 0240-38-2119

# 仮設住宅への入居者募集(継続)

## 1. 募集物件 (1月7日現在)

地区	間取り	募集戸数	住 所
福島市	2K	15戸	飯坂町平野字内小原田8-1
	3K	15戸	
	計	30戸	
郡山市	1K	4戸	喜久田町早稲原字上ノ端54-4 (3Kはペットゾーンのみ)
	2K	11戸	
	3K	1戸	
	計	16戸	
白河市	1K	1戸	日和田町高倉字諏訪前82
	2K	9戸	
	3K	11戸	
	計	21戸	
いわき市	1K	2戸	郭内151
	2K	24戸	
いわき市	3K	19戸	
	計	45戸	
いわき市	3K	1戸	南台3丁目1-1
	計	1戸	

## 2. 募集締切 当分の間受付をします。

窓口受付時間：午前9時から午後5時まで

## 3. 応募方法

双葉町仮設住宅入居申請（抽選申込）書に必要事項を記入の上、双葉町福島支所へお申し込みください。直接お越しになれない場合は、申請書をファックスまたは郵送にてお申し込みください。

※3Kは3名以上で受け付けします。

※被災証明または罹災証明の写しを付けてお申し込みください。

※お電話、Eメールでの申請は受け付けできません。

## 4. 入居時期 入居決定次第順次入居可能

## 5. 入居期間

原則として1年間、ただし、特別な事情がある場合のみ最長平成26年3月31日まで

## 6. その他

各地区にペット飼育可能な区間を一部設けますが、応募多数の場合は抽選となります。

※住宅の家賃は無料です。駐車場は1世帯1台です。

※電気、水道、ガス料金、食費などの経費は入居者の負担となります。



# 双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられたお便りやメールの一部をご紹介いたします

## 続 須賀川からの便り

年が明け2013年となりました。

3・11震災でお亡くなりになりました方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

さて、昨年12月2日、福島県石川郡石川町に「石川フィルハーモック」第20回定期演奏会が行われました。

石川町は、私がお世話になっている須賀川市から、福島空港の手前を右折して南方向に約15キロ位の距離でした。久しぶりにクラシックの演奏を生で拝聴し、大きな感動をいただきました。

曲目の中には本邦初演奏の交響曲もあり、その他フルート協奏曲やハイドンの「交響曲第63番ハ長調」など、格調の高い演奏でございました。

最後に「里の秋」や「ふるさと」「たきび」など親しみやすい童謡を会場全員の合唱で幕となり、思い出深いものとなり、そのため私自身「ミュージックセラピー」を体験するとともに、音楽の素晴らしさと力強さを改めて実感することができました。

石川町は初めての訪問でしたが、山合いの小じんまりとした町の印象でした。この地に平成3年から町立のオーケストラが設立・運営かれていることに感心いたしました。特に「高橋貞春」氏の経歴は輝かしいもので、1978年ウィーン市立音楽院を最優秀賞を得て卒業し、ウィーン室内管弦楽団でクラリネット奏者として活躍され、1979年帰国、その後アメリカ建国200年祭には前日本選抜高校吹奏楽団指揮者として全米を演奏旅行しております。

その後、石川フィルの第二回演奏会から指揮者を務められているとのことでした。

帰りには、指揮者の高橋さんが玄関先で一人ひとりを見送りながら出てくださいました。今回がファイナルコンサートとなり来年からは新しい出発をしたいと司会者からのあいさつでございましたので、期待しております。

機会があればこれからも各地の演奏会には、数多く出席したいと考えております。

1月 須賀川市にて

古室 仁（浜野）



避難生活が続く中、全国に避難されている町民の皆さまの声を「双葉の風だより」のコーナーで紹介するため、皆さまからのお便りを募集しています。

現在の生活の様子、避難先の地域のこと、町民の皆さまに伝えたいことなどなんでも結構ですので、皆さまの声をお寄せください。

- |                   |                  |              |                  |
|-------------------|------------------|--------------|------------------|
| ・初詣で願う事共多くして      | ・おめでとうの微風運び来し初便り | ・大晦日悲喜交々に仮の宿 | ・除夜の鐘故郷の匂いをそのままに |
| <b>武内 恒雄（長塚二）</b> |                  |              |                  |

## 旅の途中にて

今度の旅は長い旅になりそうです。

家を出てから1年と9ヶ月過ぎてしましました。

明日また20回目の11日が廻ってきます。

震災で亡くなった方、この旅の途中でやむなく逝った人。

さぞかし、残念だったことでしょう。ご冥福をお祈りします。

そういう私も、今、旅の途中です。

今年も去年同様、静かに寂しく家族3人で誕生会をしました。

この旅は何時終わるのでしょうか。

誰か教えてください。

心の痛みわかつてください。

今度の旅は悲しみばかりです。

友人や知り合いが他国で他界をし、私の地区でもすでに14名が仏様になったと聞いています。

故郷のような葬列もなく、小さな小さな葬儀だったそうです。

生まれてくる時も一人、死ぬ時も、ひとり…これからどうやって生きていけば良いのかわかりません。

埼玉の空は、今日も青空なのに…

私の旅は、まだ続きます。

袖原 秀康（三字）

## 【問い合わせ先】

秘書広報課 秘書広報係  
☎ 0480-73-6880(代表)

## 師走の候

お世話様になっております。

福島市も寒さ厳しい2度目の冬を迎えます。

今まで「対岸の火事」と思っていた災害に「明日は我が身」を実感し、当たり前の生活がいかにかけがえのないものかを学びました。

慣れない土地での生活で悩み、辛くなる日がありますが「故郷双葉」を思ながら将来に明るい希望を見いだせると信じたいです。

この度はたくさんの物資をお送りいただきありがとうございました。

今年の冬は大雪、寒波と気温差が激しい時ですので体にご自愛ください。

取り急ぎお礼まで

石田勇治郎  
ウメ子（寺松）

**前略**

この度はたくさん支援物資を送ってくださり本当にありがとうございました。予期しないクリスマスプレゼントをいただいたようでとてもうれしくなりました。

早いものでふるさと双葉町の我が家を離れて二度目の正月を迎えるとしてあります。月日だけがただむなく過ぎてゆくようなやりきれない気持ちになることもありますが、一日一日楽しいことを見つけて笑いながら暮らしていこうと思っているところです。

双葉町の人たちが落ち着いて安心して暮らせる日が早く訪れますよう、町関係の方々のより一層のご健闘を心から期待してお礼のあいさつとさせていただきます。

## 前略

皆さまにはお忙しい日々をお過ごしのこととお察し申し上げます。

この度はたくさんの食品をお送りくさだいましてまことにありがとうございました。

配達員さんが「重い」と言って笑顔で届けてくださいました。さっそく開けてびっくり、そろそろ買わなくてはと思っていたものがぎっしり、本当にありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。

この地へ住んで1年4ヶ月。古い町並みですが、小京都と言われており、和紙や織物で昔はにぎわっていたそうです。とても住み良い静かな町です。友達もでき、先日、東日本復興チャリティーコンサート（ロシアのオペラ歌手5人）に連れて行っていただき楽しんできました。このままこの町にと思ったこともありますが、年齢的に一人暮らしの心細さにやはり双葉の皆さん近くへ帰りたい。また息子家族がどこへ落ち着くのかと思わない日はございません。元気なうちにと願うばかりです。

日に日に寒さが増してまいります。どうぞ皆さまお元気にて新年をお迎えくださいますよう心からお祈りいたします。ありがとうございました。

畠中 歌子（長塚一）

**双葉町の皆さまへ**

日々、日々流れは早く、もう二度目の年の瀬とありなり、この便りが届きます頃にはお正月となっていますね。

クリスマスには双葉町よりたくさんのプレゼントが送られてきました。生活を切り詰めて正月はできないと思っていましたら、餅や米や色々な品がどっさりと入っていました：「わあこんなにたくさんサンタさんどころかお正月様もやつてきたやつた」と喜び合いました。遠く避難してしまい、双葉町の皆さまとお会いできなくて寂しいですが、いつの日かまた双葉町がみんな一緒に暮らせる日を楽しみにまお元気でがんばってお暮しくださいませ。良き年を迎えられますようお祈り申し上げます。支援物資を送っていた

後藤  
勝充良  
(三季)  
かしこ

## 双葉町・大熊町合同交流サロンのご案内

皆さんでお茶を飲みながらおしゃべりをしたり、レクリエーションなどを通じて、心と体のリフレッシュをしませんか？

- ・開催日 2月12日（毎月第2火曜日）
- ・時間 午後1時30分～3時
- ・場所 ショッピングセンターリスボ 2階
- ・参加費 無料

- ・送迎ボランティアの協力により、小名浜地区にお住まいの方のみ10人程度まで送迎は無料。事前申し込みが必要になります。
- ・乳幼児スペースもありますので、お気軽にご参加下さい。

【問い合わせ先】相双保健福祉事務所いわき出張所 ☎ 0246-24-6118

# ぼくの夢・わたしの夢



双葉北小学校 6年 **さかもと ゆきの  
坂本 千乃さん**  
(現在:西郷村立米小学校)

私の夢は、双葉スポ少の半谷美咲先輩みたいにアンダー14に入り全国的に活躍できる選手になることです。

私は、小学2年生から双葉スポ少でソフトテニスを始めました。全国大会出場を目指して練習に励んでいましたが、震災でソフトテニスが出来なくて一時は諦めしていました。西郷村でまた続けることが出来てとてもうれしかったです。全国大会の県予選で2位になり、島根県で開催された全国大会に出場することができました。この大会に行けた事が自信につながり、中学校に行っても続けて努力したいと思います。双葉スポ少で教えてくださった渡部コーチや先輩、支えてくれたたくさんの方々のおかげでここまでこれたと思います。これからも頑張りたいです。

## おめでとうございます



1月18日、泉田俊子さん（両竹：福島市居住）がめでたく満百歳を迎えるにあたり、穴原温泉において賀寿式が行われました。

式では、金木明相双保健福祉事務所長から福島県知事賀寿と会津塗の木杯が、井戸川克隆町長から敬老祝い金が贈られました。

続いて、ひ孫の泉田紀子さんが花束を贈りました。

また、家族を代表して孫の泉田達夫さんが謝辞を述べられました。俊子さんはご家族や親戚の方々に囲まれ、幸せな賀寿を迎えられました。

※1月16日には若松フユさん（三字：いわき市居住）も賀寿を迎えられました。



遠藤優真くん(1歳9ヶ月)と  
お母さんのあゆみさん(新山)

アンパンマンが大好きです！

▲ 現在、埼玉県毛呂山町にお住まいです。

## 双葉町民の避難状況

(平成25年1月8日現在)

- ・福島県内に避難されている方 3,704人
- ・福島県外に避難されている方 3,250人

## お知らせ

広報ふたばは、毎月世帯主の方にお送りしていますが、家族が離れて暮らしている等、世帯主以外の方で郵送を希望される場合は、双葉町総合受付コールセンター（☎0120-455-770）までご連絡ください。

双葉町では、町民の皆さまの**所在の把握**を行っています。これまで滞在されていた場所から移動された場合や借り上げ住宅、仮設住宅等に移られた場合もご連絡をお願いいたします。

## ○総合受付 コールセンター 0120-455-770

埼玉支所 〒347-0105

埼玉県加須市騎西598-1 旧騎西高校内

☎ 0480-73-6880 FAX 0480-73-6926

✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

福島支所

〒963-8024

福島県郡山市朝日一丁目20番2号

☎ 024-973-8090 FAX 024-933-5120

✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式 臨時サイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/>  
ホームページ 臨時モバイルサイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/mobile/>

連絡先